

November 10, 2021

**【前日の為替概況】ドル円、4日続落 約1カ月ぶり安値**

9日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続落。終値は112.87円と前営業日NY終値(113.23円)と比べて36銭程度のドル安水準だった。アジア時間に一時112.73円と約1カ月ぶりの安値を付けた影響が残ったものの、NY市場に限れば方向感に乏しい展開だった。22時30分前には一時113.11円付近まで値を戻す場面もあったが、米長期金利が低下すると112.74円付近まで下押しした。そのあとは112円台後半での狭いレンジ取引に終始した。市場では「10日に市場の注目度が高い10月米消費者物価指数(CPI)が発表されるため、NY午後は様子見ムードが広がった」との声が聞かれた。なお、この日発表の10月米卸売物価指数(PPI)はほぼ予想通りの結果となったため、相場の反応は限られた。

ユーロドルは小幅ながら3日続伸。終値は1.1593ドルと前営業日NY終値(1.1587ドル)と比べて0.0006ドル程度のユーロ高水準だった。米長期金利の低下に伴うユーロ買い・ドル売りが先行し、一時1.1608ドルと日通し高値を付けたものの、1.16ドル台での滞空時間は短かった。市場では「テクニカル的には4日の高値1.1617ドルがレジスタンスとして意識されている」との声が聞かれた。

NY午後に入るとドル円と同様に、手掛かり材料難の中で様子見ムードが強まり、1.15ドル台後半で値動きが鈍った。

ユーロ円は下落。終値は130.86円と前営業日NY終値(131.20円)と比べて34銭程度のユーロ安水準。アジア時間に一時130.68円まで売込まれた影響が残ったものの、NY市場では新規材料難から様子見ムードが広がり、狭いレンジ取引に終始した。

スイスフランは堅調だった。米株安などを背景に相対的に安全通貨とされるスイスフランに買いが入り、対ユーロでは一時1.0554スイスフランまで値を上げた。ドルに対しても一時0.9102スイスフランまで買われ、日通し高値を付けた。

なお、メクラー・スイス国立銀行(中銀、SNB)理事は「スイスフランは引き続き安全な通貨として求められている」と述べ、現状のスイスフラン高に対する懸念は示さなかったが、「スイスフランの上昇を抑制するために為替市場に介入する用意が常にある」と語り、警戒もにじませた。

**【本日の東京為替見通し】円ショート多くドル円の上値は重い、スイスフラン買いも上値圧迫要因**

本日の東京時間のドル円の上値は限られるか。昨日は約1カ月ぶりに112円台まで弱含んだドル円だが、112円前半では本邦勢を中心に値ごろ感からの買いが観測される。昨日は欧米入り後も112円台後半は底堅く、本日の東京時間でも相応の買いが出てくることが予測される。しかしながら、商品先物取引委員会(CFTC)の円先物のポジション状況は先週2日時点で、2018年12月以来となる円ショートポジションを記録するなど、海外投資家も円売りに傾いていることでドルの上昇局面では、ドル円を売り逃げたい市場参加者も多数いると観測されることで、上値は抑えられそう。また、円同様に低金利・安全資産とされるスイスフランにも買いが集まっていることも、ドル円の上値を抑える要因となりそう。

本日の東京時間の注目経済指標は、10月の中国消費者物価指数(CPI)と生産者物価指数(PPI)。中国CPIは伸びが鈍化しているが、9月のPPIは前年比+10.7%と1996年の統計開始以来で最大の伸びを記録している。中国人民銀行(中央銀行)のかじ取りが難しくなっていることで、両指標の結果次第で中国株式市場含め神経質な動きが予想される。

経済指標以外では、バイデン大統領が先週、ホワイトハウスにブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事を招きFRB議長について会談したと報じられているが、パウエルFRB議長の去就問題が近々発表される可能性が高まっていることに要警戒。また、中国恒大集団の利払い猶予期限が11日(日本時間では12日)に迎えることで、恒大集団を含め複数の中国不動産企業の行方にも目を向けておきたい。なお、米国時間には米国の10月CPIも発表予定となっている。

**【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間**

&lt;国内&gt;

〇08:50 ◇ 10月マネーストックM2(予想:前年比4.0%)

〇特別国会召集・第2次岸田内閣発足

## &lt;海外&gt;

- 08:30 ◇ 11 月豪ウエストパック消費者信頼感指数
- 10:30 ◎ 10 月中国消費者物価指数 (CPI、予想：前年比 1.4%)
- 10:30 ◎ 10 月中国生産者物価指数 (PPI、予想：前年比 12.4%)
- 16:00 ◎ 10 月独 CPI 改定値 (予想：前月比 0.5%/前年比 4.5%)
- 16:00 ◇ 9 月トルコ失業率
- 16:00 ◎ 10 月ノルウェーCPI (予想：前月比 0.1%/前年比 3.9%)
- 18:30 ◎ エルダーソン欧州中央銀行 (ECB) 専務理事、講演
- 21:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 21:00 ◎ 10 月ブラジル IBGE 消費者物価指数 (IPCA、予想：前年同月比 10.45%)
- 22:30 ☆ 10 月米 CPI (予想：前月比 0.6%/前年比 5.8%)
  - ☆ エネルギーと食品を除くコア指数 (予想：前月比 0.4%/前年比 4.3%)
- 22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数 (予想：26.5 万件/209.5 万人)
- 23:00 ◎ テンレイロ英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員、講演
- 24:00 ◇ 9 月米卸売売上高 (予想：前月比 0.4%)
- 11 日 00:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 11 日 01:00 ☆ 7-9 月期ロシア国内総生産 (GDP) 速報値 (予想：前年比 4.5%)
- 11 日 03:00 ◎ 米財務省、30 年債入札
- 11 日 04:00 ◎ 10 月米月次財政収支 (予想：1790 億ドルの赤字)

11 日

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◇ 10 月企業物価指数
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況 (週次・報告機関ベース)

## &lt;海外&gt;

- 09:00 ◇ 11 月 ANZ 企業信頼感
- 09:01 ◇ 10 月英王立公認不動産鑑定士協会 (RICS) 住宅価格
- 09:30 ◎ 10 月豪雇用統計 (失業率/新規雇用者数)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

9日 06:12 エバンス米シカゴ連銀総裁  
「インフレ期待が大きく高まるならば、2022年の利上げを  
考えるのが妥当」  
「テーパリングのペースを変えるためのハードルはそれ  
なりに高い」  
「現在の賃金上昇率は過度に緩和的な政策を示してい  
るとは考えていない」

9日 22:12 クノット・オランダ中銀総裁  
「ECB は一段の高インフレに備える必要」

9日 23:34 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長  
「FRB はヘッドラインの数字だけでなく、労働市場の格差  
にも注意を払っている」  
「可能な限り多くの人が働くことができれば、経済はより  
強くなる」  
(金融政策について言及せず)

10日 01:01 メクラー・スイス国立銀行(中銀、SNB)理事  
「新型コロナのリスクはあるが経済モメンタムは堅調」  
「フランは引き続き安全な通貨として求められている」  
「フランの価値は、何らかの出来事よりも世界的な金融  
政策の見解によって決定されている」

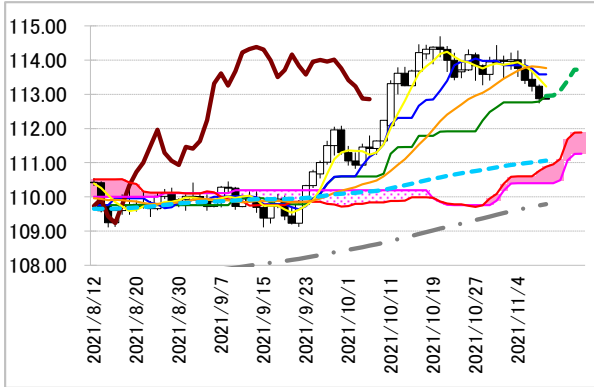
10日 01:08 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理  
事  
「現在の物価上昇圧力の幾つかがどの程度持続するか  
について、大きな不確実性が残っている」  
「一時的なインフレの急上昇に対応して政策金利を早急  
に引き上げることは、低所得者層の家計に最も打撃を  
与える」  
「物価安定と金融安定の両面から、中銀は住宅価格に  
もっと注意を払うべき」

10日 01:54 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁  
「労働市場の状態については多くの不確実性がある」

10日 03:41 カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁  
「物価は予想より長く上昇している」  
「現在、多くの不確実性がある」  
「需要ショックであろうと供給ショックであろうと、一時的と  
なる可能性」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

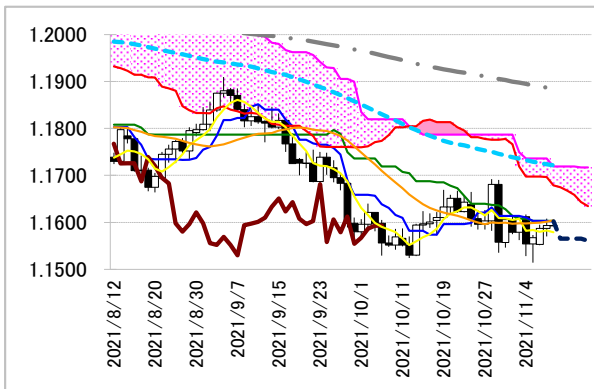


### <ドル円＝上昇する基準線への追随を期待>

陰線引け。112.79円に位置していた一目均衡表・基準線をいったん割り込んだものの下げ渋り、112.87円でNYを引けた。

しかし、本日は基準線が112.95円へ上昇。同線を下回る水準で取引されている。基準線を追うような戻りを期待するが追随できないと、サポートになりそうな目ぼしい日足ベースのテクニカル指標が乏しい下値を探るリスクがある。

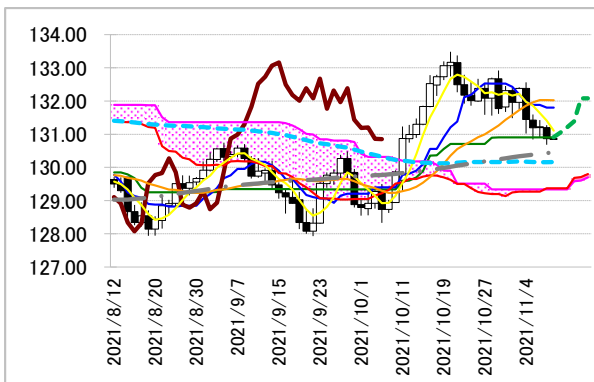
レジスタンス1	113.59(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	112.87
サポート1	112.40(ピボット・サポート2)
サポート2	112.08(10/11安値、9/30高値)



### <ユーロドル＝低下を再開した転換線に押される展開を予想>

小陽線引け。一時1.1608ドルと、3営業日ぶりに1.16ドル台を回復する場面もあった。しかし、一目均衡表・転換線および基準線1.1603ドルも位置した同水準付近では停滞感が強かった。本日1.1602ドルと低下を再開した転換線に押されて下押し展開が予想される。

レジスタンス1	1.1646(11/9レンジ上昇幅の2層倍=E計算値)
前日終値	1.1593
サポート1	1.1551(11/8安値)

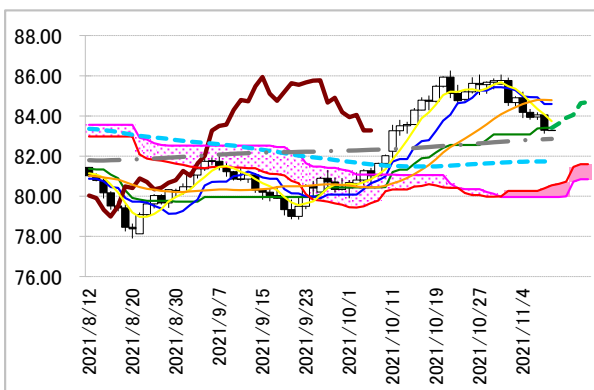


### <ユーロ円＝基準線を下回り、下値を試す可能性>

下影陰線引け。サポートが期待される一目均衡表・基準線130.91円を割り込んできた。

次は200日移動平均線など、他の130円台のサポートを試す可能性がある。上昇傾向の基準線を追うような戻りも想定できるが、下げ渋れず130円の割れを試す展開も視野に入れておきたい。

レジスタンス1	131.59(11/5高値)
前日終値	130.86
サポート1	130.45(200日移動平均線)



### <豪ドル円＝5日線付近の上値の重さ続くか>

陰線引け。5日移動平均線付近で上値が重く、一目均衡表・基準線を割り込んできた。本日、基準線は83.41円へ小幅に上昇。今後も切り上がる見込みの同線を追うような戻りは想定できる。しかし、83.75円前後へ低下してきた5日線が反発を抑えることになるか。下押し展開となり、強弱の重要な節目200日移動平均線を試すことも念頭に置いて臨みたい。

レジスタンス1	83.75(5日移動平均線)
前日終値	83.28
サポート1	82.86(200日移動平均線)

